



四国森林管理局

徳島森林管理署 とくしま通信

民有林直轄治山事業の地元説明会を開催

徳島署では、現在三好市東祖谷山地区で実行中の民有林直轄治山事業に関する地元説明会を10月10日、麦生土地区の公民館で開催しました。麦生土地区から7名の方が参加し、当署職員が機構調査の進捗状況と、現時点で想定される今後の対策工の概要について説明しました。その後、実際に図面上で対策工の施工位置を確認し、地すべりの原因である地下水を集水し、地表で排水する地点について、住民の方からの要望を踏まえ確認しました。徳島署では、このような説明会などを通じた地域の声の把握と、それらを反映した治山事業に取り組んでいます。



説明会冒頭の署長挨拶



麦生土地区の皆さん



図面上で位置を確認



菊池治山技術官の説明



山腹崩壊で破損(菅生国有林)



補修後(菅生国有林)



倒木による破損(鎗戸国有林)



職員自ら補修(鎗戸国有林)

シカネットの補修を行いました

ニホンジカによる食害は国有林、民有林を問わず喫緊の課題となっていますが、徳島森林管理署では、はこ畠やNPOと連携したニホンジカの捕獲に努めています。また、被害が顕在化している区域においては、シカネットによる食害防止にも努めています。しかし、台風、山腹崩壊や倒木などによりシカネットが破損した場合には、職員自らシカネットの補修を行っています。菅生国有林と鎗戸国有林に過去に設置したシカネットが倒木などにより破損したため、10月12、18、19日の3日間において補修しました。このような活動を含め、継続した獣害対策に努めています。

新たな民国連携について発信しました

10月10日、徳島県山地防災ヘルパー講習会が美馬市において行われ、徳島署から、民有林が被災した際の災害復旧活動にドローンを活用した支援について発表しました。徳島署では、平成28年度に民国連携の実現を目指し、徳島県、三好市や事業者から構成されるケーススタディ会議を設け、地域の森林・林業の再生に向けた課題解決に民国連携して取り組んでいますが、今回のドローンを活用した災害復旧活動への支援は、新たな連携ツールとして取り組んでいるもので、徳島署では、このような関係機関等からの様々なニーズに対し、適切に答えていくこととしています。



当署職員による発表



出席者からの質問



質問に答える



42名の山地防災ヘルパーが参加



徳島署庁舎

四国森林管理局 徳島森林管理署
 TEL:088-637-1230 / FAX:088-666-1818
 〒771-0117 徳島県徳島市川内町鶴島239-1



国民の森林・国有林